

---

# リボーン 10年前に行っちゃいましたー

みづごろう

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

リポーン 10年前に行っちゃいました！

### 【Nコード】

N9335Y

### 【作者名】

みづごろろ

### 【あらすじ】

未来が変わった……………

カエルは仲間の前から姿を消した……………

そして現在、仲間から追われる日々……………

そしていきなり10年前にトリップ！？

はい、すみません！！携帯で投稿するとどんなにか試してみたくて興味本意でやってしまいました！！

本当にすみません！！

## 紹介& a m p・設定ですー

フラン

元ヴァリアー霧の幹部

秘密がある

ポーカーフェイスの裏には過酷の過去がある

未来が変わりヴァリアーに入らなかつたことに

今はフリーの殺し屋

ヴァリアーにスカウトを受けているが断り、逃走している

実は虹のアルコバレーノ

元々あるファミリーの十代目ボスになる予定だったが、ボスになる前に壊滅した

何故ノントウリニセツテが平気だったかというところから、ヴェルデに超強力なおしゃぶりケースを貰っていたから

何故かヴァリアーだけがフランのことを忘れている

通り名は狂気の幻術師

武器は幻術、ボックス、ナイフ ベルに貰った

虹の炎は綺麗な七色

色事に特性が分かれてる

オレンジ⇨調和、癒し

赤⇨分解、パワーUp

青⇨鎮静、視力Up

緑⇨硬化、守り

紫⇨増殖、回復

黄⇨活性、補助

藍⇨構築、具現

虹は全てのボックスを開けることができる

## ボンゴレファミリー紹介ですー（前書き）

みづ「やっちゃったよ…三つも掛け持ちしちゃったよ…」

フラン「馬鹿ですかー？アホですかー？」

みづ「フラン…相変わらず毒舌」

フラン「っていつか前回の紹介&設定ですーと一緒に書けばよかったですじゃないですかー」

みづ「色々あるの…！」

フラン「あっそうですかー」

みづ「もういい…本編スタート」

## ボンゴレファミリー紹介ですー

ボンゴレファミリー

備考：ボンゴレとは、イタリア語でアサリ貝を示している

ボンゴレファミリーは、昔からある勇諸正しいファミリーで一代目から九代目まで受け継がれてきた

沢田 綱吉

ボンゴレ十代目

ボス属性は大空

中学三年生でツツコミ役

苦勞人でリボンがくるまでダメダメのダメツナと呼ばれていた  
戦いはあんまり好き好んでやらない

原作では主役だが、この小説では主役じゃない  
仲間に危機が迫ると助けてくれる

リボンの死ぬ気弾か、死ぬ気丸を飲むとリ・ボンし、超ツナ（  
ハイパー）となり、性格も変わる

武器は天空ライオン（レオネ・デイ・チエーリー バージョンボン  
ゴレ）のナツツと、<sup>イクス</sup>XグロブVar・V・R（バージヨン、ボン  
ゴレ）、？世のマント（マンテツロ・デイ・ボンゴレ・プリーモ）、  
？世のガントレット（ミテーナ・デイ・ボンゴレ・プリーモ）、ボ  
ンゴレギア

必殺技はX <sup>イクス</sup>BURNER、<sup>バーナー</sup>Xストリーム、死ぬ気の零地点突破、  
ビッグバンアクセル、バーニングアクセル

獄寺 隼人

嵐の守護者

属性は嵐、雷、雲、雨、晴

中学三年生で通り名、スモークンボム

イタリア人の父と、イタリア人と日本人のハーフの母を持つ、クオ  
ーター

性格はすぐに頭に血を上らせ、熱くなる性格で、山本をライバル視  
してる

自称十代目の右腕

意外と頭脳派で修行する時もまず形から

特技はピアノ

幼少期の仕打ちによるトラウマから、異母姉のビアンキが大の苦手  
で顔を見るだけでも倒れる、顔の一部が隠れると平気

武器はダイナマイト、S I S T M A C ・ A ・ I、システムボツクス兵器；

フレイムアロー赤炎の矢、嵐猫 V a r ・ v & a m p ; N E W S I T E M A C ・

A ・ I (ガット・テンペスタ ニュースイステーマ シー・エー・

アイ)の瓜、Gの弓矢、シーのアーチェリーボンゴレギア

必殺技は二倍ボム、三倍ボム、ボムスプレッツ、ピックポケットボ

ム、チビボム、ロケットボム、ガトリング・アロー、トルネード・フレイムアロー赤竜巻の矢

嵐の守護者の使命は「荒々しく吹き荒れる疾風」、常に攻撃の核  
となり、休むことのない怒涛の嵐」

山本 武

雨の守護者

属性は雨

中三の天然野球馬鹿

リポーン曰くボンゴレトップの運動神経を持つ

家は寿司屋

獄寺には一方的にライバル視されている

リポーンからももつとも信頼が厚い

ツナとは補習仲間

スクアアロとは良きライバル

武器は時雨金時、しぐれきんとき雨燕 V e r ・ V (ローンディネ・ディ・ピオツジ

ヤ バージョンボンゴレ)の小次郎と、雨犬 V e r ・ V (カーネ・



デイ・ピオツジャ バージョンボンゴレ（あなむすぶつじのへんそくよんじう）の次郎、朝利雨月の変則四刀、ボンゴレギア

必殺技は時雨蒼燕流、攻式一の型車軸の雨、守式二の型逆巻く雨、攻式三の型遣らずの雨、守式四の型五風十雨、攻式五の型五月雨、守式七の型繁吹き雨、攻式八の型篠突く雨、秋雨、攻式九の型うつし雨、特式十の型燕特攻（スコントロ・デイ・ローン・テイネ）、特式十一の型燕の嘴（ベツカタ・デイ・ローン・テイネ）、特式十二の型左太刀・霧雨 右太刀・斬雨、総集奥義時雨之化（アタツコ・デイ・ヌカケ、渦転斬雨の守護者の使命は「全てを洗い流す恵みの村雨」、（レクイエム）「戦いを清算し、流れた血を洗い流す鎮魂歌の雨」

ランボ

雷の守護者

属性は雷

ボンゴレ最年少の五歳

獄寺と仲が悪い

ボヴィーノファミリーだったがボンゴレに引き抜かれた？

よく十年バズーカで十年後ランボと入れ替わってる

泣き虫だが、飴をあげると泣き止む

イーピンと、フウ太とは仲良し

何故かつナの家に居候せている

雷を通さない特殊体質

武器は手榴弾、10年バズーカ、雷牛Var・V（ブーフアロ・フルミネ バージョン・ボンゴレ）の牛井、ランポウの盾（シールド）、ボンゴレギア

必殺技は雷撃角（エレットウリコ・コルターナ）（10）、雷撃角+（エレットウリコ・コルターナ プラス）（20）、エレットウリコ・リバース、雷の角（コルナ・フルミネ）

雷の守護者の使命は「激しい一撃を秘めた雷撃」「雷電となるだけでなくファミリーへのダメージを一手に引き受け消し去る避雷針」

雲雀 恭弥

雲の守護者

属性は雲、霧

並中最強の風紀委員長で、年齢は忘れたいらしい…

群れるのが嫌いで、骸とは犬猿の仲

並森の風紀を乱すと咬み殺される

意外と小動物が好き

因みに携帯の着メロは並中校歌

戦闘オタク

武器は仕込みトンファー、雲ハリネズミVar・V（ポルコスピー

ノ・ヌーヴォーラ バージョンボンゴレ）のロール、アラウディの手

錠、ボンゴレギア

雲の守護者の使命は「何者にもとらわれず我が道をいく浮雲」「何

者にもとらわれることなく独自の立場からファミリーを守護する孤

高の浮雲」

笹川 了平

晴の守護者

属性は晴

高一

笹川京子の兄で並中ボクシング部主将

極限が口癖で本人曰くこの言葉を口にするとう気合がはいるらしい

常時死ぬ気男

京子のことが大切だがシスコンではない

獄寺のことをタコヘッドと呼び、獄寺に芝生頭と呼ばれている

ボンゴレのスクアードだと、作者は思う

武器は己の拳、晴コテ（サントーレ・デル・セレーノ）、晴カン

ガルVar・V（カンゲーロ・デル・セレーノ バージョンボン

ゴレ）の漢我流、カンガリュウ ナックルの極限ブレイク、グローブ、晴シューズ、

救急箱縄（名称不明）、ボンゴレギア

必殺技は極限ストレート、マキシマムキャノン 極限ラッシュ、マキシマム 極限太陽、マキシマム 極限イングラ

ム、<sup>マキシムム</sup>極限コンビネーション、サンシャインカウンター、サンシャインストリート、サンシャインアッパー、<sup>マキシムム</sup>極限サンシャインカウンター  
晴の守護者の使命は「明るく大空を照らす日輪」「ファミリーを襲う逆境を自らの肉体で砕き明るく照らす日輪」

六道 骸

霧の守護者

属性は霧

高一でナツポールの髪型

好きな言葉は完全無欠（ナツポールの花言葉）

オッドアイで右目が赤で瞳の中に六の数字が刻まれてる

エストラーネオファミリーの人体実験でこうなった

このことからマフィアを嫌うようになった

エストラーネオを<sup>ろくろじんね</sup>六道輪廻を利用し、エストラーネオを潰した

笑い方はクフフやクハハという変わった笑い方をする

犬曰く機嫌がいいとフの数が増える

フランの師匠で、フランのことをおちびと呼ぶ

瞳のヘルリング所持者

もう、<sup>ヴァインディチェ</sup>復讐者から脱獄している設定で

武器は三叉槍、六道輪廻、霧フクロウVar・V（グーフオ・ディ・

ネツピア バージョンボンゴレ）のムクロウ、D・スピードの魔レ

ンズ、依弾、ボンゴレギア

必殺技は六道輪廻、一地獄道、二餓鬼道、三畜生道、四修羅道、五

人間道、六天界道、幻術、有幻覚、霧のカーテン（コルティナー・

ネツピア）

霧の守護者の使命は「実態のつかめぬ幻影」「無いものを在るものとし在るものを無いものとする」ことで敵を惑わしファミリーの実態をつかませないまやかしの幻影」

クローム <sup>ドクロ</sup> 髑髏

霧の守護者補佐

属性は霧

中三で本名は凧

骸に似せた髪型で右目に眼帯を付けている

内臓が無く、骸の強力な有幻覚で補っている

三叉槍が壊れると内臓が無くなり、お腹が潰れる

骸とは、三叉槍を通して繋がっている

麦チヨコが大好き

武器は三叉槍、六道輪廻

必殺技は六道輪廻、以下骸と同文

ボンゴレファミリー紹介ですー（後書き）

みづ「ふう…」

フラン「わー、作者のどうでもいい私情がちらほら入ってますー」

みづ「いいじゃん」

フラン「ところでいつまで人物紹介行くんですかー？」

みづ「そんなの知らん!!」

フラン「開き治りやがったよ…こいつ…」（ボソッ）

みづ「次回はヴァリアー紹介だよ」

フラン「なんか勝手に次回予告始めたよ…」

みづ「分からない人は見てね」

## ヴァリアー紹介ですー（前書き）

みづ「今度はヴァリアー人物紹介だよ」

フラン「 を付けないでくださいーい」

みづ「ついでにフランの紹介もやっちゃおうよ」

フラン「ミーの紹介はやったじゃないですかー」

みづ「あれはオリジナル設定、これは原作設定」

フラン「あ、そうですかー」

みづ「始まるよ」

## ヴァリアー紹介ですー

ヴァリアー

備考：九代目直属独立暗殺部隊ヴァリアー

ヴァリアーに弱者は要らないことからヴァリアーはたった30人前後しか隊員はいない

ザンザス

XANXUS

ヴァリアーのボス

属性は大空

年齢は25歳で、自分以外の者をカスと呼び、見下す

趣味は銃の手入れとスクアーロいじりwww

ボンゴレ史上最大クーデター、揺りかごとをおこす

その際に九代目の死ぬ気の零地点突破を受けて凍らされ、冷凍仮死状態になった状態で八年間眠っていた

武器は二丁拳銃、天空嵐ライガー（リグレ・テンペスタ・デイ・チ

エーリ）のベスター

必殺技は怒りの爆発、スコッピオ・デーラマルテロ・デイ・フボアチマーロ・デイ・ユルボンダッティオ炎の鉄槌、炎の蕾、決別の一撃

スペルビ・スクアーロ

ヴァリアー雨の幹部権作戦隊長

属性は雨

年齢は23歳でスクアーロとはイタリア語で鮫ということからザンザスにカスザメと呼ばれている

強力な剣豪で次々に流派をつぶして行った

いつも大声で叫ぶように物事を言うから幹部達に煩いと言われるザンザスに至ってはグラスを投げる

あだ名はザンザス、フラン命名カスザメ、アホのロン毛隊長

山本とは、良きライバル関係

義手でスクアーロの剣に視角は無い

武器は剣、スクアーロ・ケランデ・ヒオツジャ暴雨鮫のアーロ

必殺技は鮫衝撃、アタツコ・デイ・スクアーゴンナ・天ヨシネロアチロ・スクアーロ鮫の牙、鮫特攻

ベルフェゴール

ヴァリアー嵐の幹部

属性は嵐

年齢は17歳で通り名はプリンス・ザ・リツパー、又の名を切り裂き王子

ある国の王子だが、家族をゴキブリと間違えて殺したと言っている  
口癖はだつて俺、王子だもん

フランとは喧嘩するほど仲がいいという関係

あだ名はフラン命名墮王子、王子（仮）

自分の血を見ると興奮し、記憶を飛ばし、狂う

この症状は双子の兄、ジルを見るようだから

因みに自分では記憶を飛ばしてるけど、自覚しているらしい

武器はナイフ、ワイヤー、嵐ミンク（ヴィゾーネ・テンペスタ）の  
ミンク

必殺技は紅蓮の炎 ファイアンマ・スカルラッタ

マーモン

ヴァリアー霧の幹部

属性は霧

年齢不詳でその正体は霧のアルコバレーノ、バイパー

マーモンの名は強欲を意味する

ほかのアルコバレーノ達と違って呪いを解く努力を怠らなかった  
金にがめつい

ペットとして巻きガエルのファンタズマを連れている

普段はおしゃぶりにマモンチェーンを巻いて能力を封印している  
口癖はムムッ



武器は幻覚  
必殺技は粘写ねんしゃ

レヴィ・ア・タン

ヴァリアー雷の守護者

属性は雷

年齢は24歳であだ名はフラン命名変体雷親父  
ムツリ

作者のリボキャラ嫌いランキング第一位

ザンザスのストーカー

クロームは変体雷親父に近づいちゃダメ!!

ヴァリアーで一番弱い

キモい

アホ

カス

本当にザンザスより年下?

自分の地位を汚す者は女、子供容赦しない

最低

武器は電気傘パラボラ、雷エイ(トルペディネ・フルミネ)

必殺技はレヴィ・ボルタ、SUPER LEVI VOLTAスーパー・レヴィ・ボルタ

馬鹿

タコ

女性はレヴィに近づかないで下さい

女性はレヴィに近づかないで下さい

大事な事なので二回言いました

ルッスーリア

ヴァリアー晴の幹部

属性は晴

年齢は25歳でオカマ

死体愛好家

あだ名はフラン命名クジャクオカマ  
ムエタイの使い手

部下にはルッス姐と呼ばれている

武器はメタルニー、晴クジャク（パウオーネ・デル・セレーノ）  
必殺技はヒーリングパネル

フラン

10年後ヴァリアー霧の守護者だった

属性は霧、虹 オリジナル

年齢はTOP SECRETで666のヘルリングの所持者  
ボス以外面白みのあるあだ名を付ける

かなりの毒舌

無表情、無関心

作者の好きなりボキヤラランキング第一位

## ヴァリアー紹介ですー（後書き）

フラン「わー…レヴィさんかわいいそー」（棒読み）

みづ「だってそれ以外に書くこと無かったし」

フラン「そうですねー」

みづ「でしょ？」

フラン「…作者はレヴィさんだけ毒舌なんですなー」

みづ「本当はレヴィを出したく無いけど出さないと話が進まないから…」

フラン「ところで前から思ってたけど、原作より年齢が一つ繰り上がってますよー？」

みづ「だってあの継承式編から一年後だから」

フラン「そうなんですかー」

みづ「今回はアルコバレーノ紹介」

フラン「いつまで紹介が続くのでしょー？」

みづ「さあ？」

## アルコバレーノ紹介です！

アルコバレーノ

備考：アルコバレーノとはイタリア語で虹という意味  
マフィア界最強の七人  
別名呪われた赤ん坊

ルーチエ

アルコバレーノのボスで橙色のおしゃぶりを持つ大空のアルコバレーノ

相棒はリスのコスモ

ジツリヨネロファミリーのボス

原作では行方不明だが、この小説ではそんなの無視　おい！！  
巫女であり、予言者

フォン  
風

赤色のおしゃぶりを持つ嵐のアルコバレーノ

相棒は猿のリーチ

見た目は雲雀さんを小さくして中国服を着せた

イーピンの師匠

物腰柔らかい性格

武器はカンフー

必殺技は爆龍拳

コロネロ

青色のおしゃぶりを持つ雨のアルコバレーノ

相棒は鷹のファルコ

ラルの変わりにアルコバレーノになった本来アルコバレーノになる  
はずじゃなかった者

密かにラルに思いを乗せている？

口癖はコラッ

以外に接近戦も得意

武器は空手、重火器

必殺技はマキシمام・バースト

スカル

紫色のおしゃぶりを持つ雲のアルコバレーノ

相棒は鎧を纏った巨大なタコのタコ

カルカツサファミリーの軍師

アルコバレーノの使いつパシリ

いつも空回りばっかしている

必殺技はアーマード・マツスルボディ

リボーン

黄色のおしゃぶりを持つ晴のアルコバレーノ

相棒は形状記憶カメレオンのレオン

ツナの家庭教師

九年以上前はディーノの家庭教師だった

案外謎が多い

武器はレオン 変形した

必殺技はカオスショット

ヴェルデ

緑色のおしゃぶりを持つ雷のアルコバレーノ

相棒はワニのケイマン

ボックスを造った一人

科学者としての技術や知識はトップクラス

必殺技はエレットウリコサンダー

バイパー

藍色のおしゃぶりを持つ霧のアルコバレーノ  
相棒はカエルのファンタズマ

詳しくはヴァリアーに書いてまーす

ラル・ミルチ

アルコバレーノのなりそこない

本来雨のアルコバレーノになるはずだったがコロネロに庇ってもらったが、庇いきれず呪いが中途半端になり、体質変化が起こり、雨ではなく霧と雲の波動が流れるようになった

鬼教官

コロネロに密かに思いを乗せている

門外顧問組織 C E D E F  
チエデフ

武器はショットガン、霧ガントレット、雲ムカデネッピア（スコロペンドラ・

デイ・ヌーボラ）、バルーン

必殺技はサバイバルブラスト

フリーモファミリー紹介ですー(前書き)

出ないとは思ってござい

## フリーモファミリー紹介ですー

フリーモファミリー

備考：ボンゴレ初代ファミリー、十代目ファミリーとよく似ている

ジヨット

ボンゴレ初代ボス

デイモンに裏切られボンゴレを早々に引退し、日本に移り名前を沢田 家康に変えた

姿は超ツナと瓜二つ

ツナのご先祖様

武器はグローブ

必殺技は死ぬ気の零地点突破

G<sup>ジイ</sup>

フリーモファミリー嵐の守護者

ジヨットの幼馴染で右腕

姿は獄寺を赤毛にしたようなもの

獄寺のご先祖様だが獄寺より断然落ち着いている

武器は銃、アーチェリー

朝利<sup>あきり</sup> 雨月<sup>うげつ</sup>

フリーモファミリー雨の守護者

姿は山本が武士に目覚めたような格好旅をしていてそこでジヨットと出会う

山本のご先祖様

武器は長刀一本、小刀三本の変則刀

必殺技は氷雨、滝の舞、九頭竜・川崩れ



デimon

D・スピード

プリーモファミリー霧の守護者

ジヨットを裏切り、ボンゴレから追放した

姿はナツポーヘアーで骸のオッドアイをスピード型にしたもの

骸のご先祖様

武器は魔レンズ

必殺技はマインドコントロール、憑依

アラウディ

プリーモファミリー雲の守護者

姿は雲雀に似ているが性格は一人を好んでいたが味方には優しい性

格の持ち主だった

ジヨットと正義が一致した

雲雀のご先祖様

武器は手錠

ランポウ

プリーモファミリー雷の守護者

姿は完全十年後ランボ

世間知らずの大金持ち

ランボのご先祖様

武器は攻撃力のある盾

ナツクル

プリーモファミリー晴の守護者

姿は了平を黒髪にしたようなもの

ある試合で人を再起不能にしまい、拳を封印し神に仕える仕事  
についた

了平のご先祖様だが静かで落ち着いている

武器は己の拳

ミルファイオーレファミリー紹介ですー(ホワイトスペル編)(前書き)

本当に一応

## ミルファイオーレファミリー紹介ですー（ホワイトスペル編）

ミルファイオーレファミリー

備考：百蘭率いるジェッツソファミリーとユニ率いるジツジョネロファミリーが合併して出来たファミリー

ジェッツソファミリーはホワイトスペル、ジツジョネロファミリーはブラックスペルとよばれている

マーレリング

備考：元々ジツジョネロが所持していたリング  
マーレとはイタリア語で海という意味

百蘭<sup>ひやくらん</sup>

ジェッツソファミリー、ミルファイオーレのボス

属性は大空

白い悪魔

お菓子が大好きでよくマシユマロを食べている  
ツナに倒され、今はボンゴレに監視されている

武器はボックスの白龍<sup>しやくりゆう</sup>

必殺技は白指<sup>しやくさゆび</sup>、白拍手<sup>しやくはくしゅ</sup>、  
パラレルワールドの移動

入江 正一

晴の六弔花

属性は晴

かなり神経質

よく逆切れをする

緊張すると腹痛を引き起こす

スパナとは高校時代の仲

武器はメローネ基地

グロ・キシニア

雨の六甲花

属性は雨

変体で正一もこの人は苦手

でも、強さは本物

元々、ムクロウはいいつのボックスだが、骸が憑依したため雨フクロウから霧フクロウになった

言葉を一々繰り返して言う

はつきり言つてうざい

武器は馬上鞭、雨巨大イカ（クラーケン・デイ・ピオツジャ）

ラジエル（通称ジル）

嵐の六甲花

属性は嵐

ベルの死んだはずの双子の兄貴

笑い方はベルよりうざいシエツシエツ

本人曰くベルより頭がいい

密かに生き延びていたのを百蘭に拾われた

武器は嵐コウモリ（ピピストレット・テンペスタ）

必殺技は超炎破

オーデ・スベール・フィアンマ

レオナルド・リツピ

百蘭の伝達係

属性は霧

本名はグレイド・グレコで、骸のスパイ

クローム同様、骸を憑依させることができる特殊体質

ジンジャー・ブレット

マジシャン・ズ・ドール

魔導師の人形という通り名を持っている

属性は晴

マジシャンズドールというのは本人は戦闘にでず、人形の分身で戦うことからきている

以外に鋭い

武器は晴クモ（ラーニヨ・チエル・セレーノ）

アイリス・ヘプバーン

ミルフィオーレ人体覚醒部のただ一人だけの助手だった

属性は雲

人体覚醒部の博士を利用して死茎隊を造り出した

もじゃもじゃ頭

武器はバラ鞭、死茎隊

死茎隊

アイリスに従いし四人の男達

属性は雲

鞭でぶたれると雲の炎で肉体や間接が増殖してパワーアップする

作者的にキモい

バイシャナ

ターバンを頭に巻いて炎の力で浮いている空飛ぶじゅうたんにのっている

属性は嵐

ミルフィオーレにはウザイ奴が多いなど、作者は思う

ポックスばつかに頼っていて本人は転で弱い

武器は嵐蛇、嵐クワガタ（チエルヴォ・ヴィランデ・テンペスタ）

必殺技は8連クワガタ（チエルヴォ・ヴィランデ・ベル・オット）

オルゲルト

ジルに仕える執事

属性は雨

こいつに関しては紹介することあんま無いわ

武器は雨ペリカン(ペリカーノ・デイ・ピオツジャ)、エレファンテ・フォルテ・ピオツジャ 巨雨象 × 3

必殺技は大地の鉄槌、マルテッロ・デッラ・テラドッピオ・マスタブロンテ・トリプリチエ 二重の鉄槌、二重象

カプチーノ

年寄り

属性は晴

ウザイ

タコ

特に無し

武器はタコヘッド(テスト・デイ・ポルポ)

アラキデ

双子

属性は嵐

アラキデはイタリア語で落花生を意味する

武器は嵐ブーメラン(ブーメラン・テンペスタ) × 2

## ミルフィオーレ紹介ですー（ブラックスペル編）

ユニ

ミルフィオーレのナンバー2

属性は大空

ジツジヨネロのボスだが、商談の際に百蘭によって心を壊され、口も聞けない状態に

ルーチエの孫で、未来編の最後にこの世を去ってるがこの小説ではそんなの無視

のことが好き

ルーチエ同様未来を見ることが出来る

アリア

ユニの母でルーチエの娘

属性は大空

未来では病気でこの世を去っているがそんなの無視  
未来を見る力がある

（ガンマ）

雷の六弔花

属性は雷

ホワイトスペルが嫌い

野猿、太猿の兄貴分

意外と強くて通り名は電光の

武器はエレットロ・ビリアルド、エレットロ・ヴォールビ雷狐のネレ・ヴォールビコルル、ビジェット、黒狐

必殺技はショットプラズマ、エレクトリック・タワー、ファイナル  
ショット

幻騎士げんきし

霧の六甲花

属性は霧

ジツジヨネロの裏切り者

四刀流の剣士

骨残像のヘルリング所持者

武器は幻剣、スベットロ・スパダトロ・ヌデイブランキ 幻海牛、霧の2番 ネツピア・ヌイメロ・ドウエ

必殺技は大戦装備、アルマメント・ダ・ゲエラ 奥義・四剣、おうぎ・しんげみツア 幻剣舞 スベットロ・スパダ

太猿 たゝる

の弟分!?

属性は嵐

全然弟分に見えない

ミルフエオーレって嵐属性多い

ミルフエオーレって禿が多いね

武器はニードルスパイン、ダークサイズ 黒鎌、ダークサイズ 防御膜、ダークスライサー 黒手裏剣

野猿 のゝる

と太猿の弟分

属性は嵐

本当に嵐多い…

長髪だな

武器は黒鎌、ダークサイズ 防御膜

デンドロ・キラム

ウザイ奴多い

属性は雷

どんだけウザキャラいんの!?

武器は雷猪、エレットロ・猪ンキヤー 雷槍複数、エレットロ アーマー型のレーザー

必殺技は雷撃突き(コルポ・エレットロ・ショック)、チンキヤーレ・スコントロ・フロンターレ 猪突猛進



スパナ

正一とは高校時代からの仲

属性は不明

飴をいつも舐めている

ロボット学が進んでいることから日本に関心がある

モス力を造っている

武器はモス力

ミルフィオーレ紹介ですー… (真・六甲花編) (前書き)

ミルフィオーレ最後

ミルフィオーレ紹介ですー…（真・六弔花編）

（修）は修羅開匣っていう意味

桔梗ききょう

雲の真・六弔花

属性は雲

百蘭曰く最も頼りになる真六弔花の優しいリーダー

紳士的な性格

ブルーベル曰くよく分からないダジャレを言うらしい

武器は雲桔梗カンパヌラ・ディ・ヌーヴォラ、雲スピノサウルス（スピノサウロ・ヌーヴォラ）  
（修）

ザクロ

嵐の真・六弔花

属性は嵐

荒々しい性格でバーローが口癖

馬鹿

武器は嵐ティラノサウルス（ティランノサウロ・テンペスタ）（修）

ブルーベル

雨の真・六弔花

属性は雨

十歳前後の女の子

ザクロ曰く電波

武器は雨カタツムリ、雨シヨニサウルス（シヨニサウロ・ピオツジヤ）（修）

トリカブト

霧の真・六弔花

属性は霧

鬼のような形相をしたマスクを被ってる

キャッチフリーズは真実を語る幻影の巨人

武器は幻覚、霧蛾（修）

デイジー

晴の真・六弔花

属性は晴

アンデッド体質で死ねないのが悩み

キャッチフリーズは殺したいほど生ける屍

武器は太陽サイ（リノチエロンテ・デル・セレーノ）、晴トカゲ（修）

ゴースト  
GHOST

雷の真・六弔花

属性は雷

百蘭がパラレルワールドから連れて来た自分

能力テストで善良のマフィアを殺してしまい、復讐者に連れて行かれた

その他登場人物ですー(前書き)

登場人物で九話まで行ってくつて

その他登場人物ですー

笹川 京子

属性は霧、晴

了平の妹

甘いものに目が無い

ハルとは友達

三浦 ハル

属性は雷

ツナの事がすき

思い込みが激しい

京子とは友達

ビアンキ

属性は嵐

獄寺の義姉

通り名は毒サソリ

武器はポイズンクッキング、嵐サソリ（スコルピオーネ・ディ・テンペスタ）

イーピン

属性は晴

通り名は人間爆弾

雲雀さんの事が好き

風の弟子

武器はカンフー

必殺技は餃子拳

フウ太

通り名はランキングフウ太  
ランボやイーピンと仲良し  
通称ランキング王子、星の王子

沢田 奈々

ごく普通の母親  
居候者にはママンと呼ばれている  
リボーン曰く奈々は<sup>大和撫子</sup>

デイーノ

属性は大空

リボーンの前教え子

部下がいないとへなちよこデイーノ

ツナの兄貴分

武器は鞭、エンツイオ、<sup>カヴァッロ・アラート</sup>天馬  
必殺技は<sup>ヘガン・スペール・サルト・ヴェオランテ</sup>天馬超翔

柿本 千種

骸と同じエストラーネオに人体実験をされていた

骸を慕っている

なんか見た目ニート

犬と仲がいい

武器はヘッジホッグ

城嶋 <sup>けん</sup>犬

骸や千種と同じエストラーネオに人体実験をされていた  
骸を慕っている

お風呂嫌いで舌足らずな喋り方をする

千種とは柿ピーと呼んで仲がいい

武器は齒型カートリッジ)

必殺技はモンキーチャンネル、コングチャンネル、ウルフチャンネル、チーターチャンネル、ライオンチャンネル、オポッサムチャンネル、カンガルーチャンネル、サイチャンネル、イノシシチャンネル

エム・エム  
M・M

骸達とは脱獄仲間

男は金がモットー

フランス人

逆さま利するとW・Wに見える為間違えられるのが嫌

武器はクラリネット

必殺技はバーニングビブラート

バーズ

骸達とは脱獄仲間

趣味は鳥を飼うこと

頭脳派で格闘とかは苦手

アメリカ人

チチ&ジジ

骸達とは脱獄仲間

アメリカ人

通称ブラッディインズ

通り名は双子の悪魔

ランチア

骸達とは脱獄仲間

骸に操られ、骸の影武者となっていた

凶悪な顔とは裏腹に優しい性格

武器は蛇鉄球



Dr. シヤマル

女たらしのイタリア人

男は診ないのがモットー（一大事の時に仕方なくや同情して診た時  
もあつた）

通り名はトライデントシヤマル

武器は体内に病原菌を持つ666種類の蚊

黒川 花

京子の親友

未来では了平と恋人同士に発展してるらしい  
幼稚園の頃から子供が大の苦手

山本 剛つよし

山本の父

山本に時雨倉燕流を教えた  
寿司屋を営んでいる

草壁 哲矢てつや

並中風紀委員副委員長  
常に口に草をくわえている  
見た目完全不良だが根は優しい

属性の説明

死ぬ気の炎と言ってリングから炎を点すが例外もある（ツナの場合  
は額、ザンザスの場合は手からも炎を点せる）  
属性ごとに特徴がある

大空 調和

嵐 分解

雨 鎮静

晴 II 活性  
雷 II 硬化  
雲 II 増殖  
霧 II 構築

ボックスの説明

ボックスはマフィアの間で出回ってる

種類は無数で、アニマルボックス、武器をしまえる保存用ボックス、  
バッテリーボックス

その他登場人物ですー（後書き）

みづ「今回はやっとプロローグ…」

フラン「どんだけ長いんですかー…」

みづ「疲れた」

フラン「とても疲れている様には見えませんー」

みづ「じゃあ次回、ちやおちやお」

## プロローグですー

ベルside

スクアール「ヴォオオオオオオイ！！！帰るぞおおお！！！！！」

ザンザス「るせえ…カス」

本当にうるせえ…

つたく…真・六甲花戦で死ねば俺が作戦隊長だったのによ

あれ？

ベル「ししっ、蛙はどこだ？」

ルッス「本当だわあ、あの子がいないと帰れないわあ」

ま、俺は蛙がいなくても別にかまわねえし

だって俺、王子だもん

スクアール「だとお！？」

雲雀「彼なら六道骸と一緒に森の奥にいったよ…悲しそうだったけどね」

マーモン「ムムツ…ヴェルデもないみたいだね…そういえばカエルって？」

ベル「お前が死んでた時の後任」

マーモン「ムムツ…それはまずくないかい？」

ベル「あん？」

ルツス「それってどういうこと？マーモンちゃん？」

マーモン「百蘭が倒されて未来が変わった…僕も死ななかったことになる…ということとは？」

ザンザス「…俺達に出会わないことになる」

ベル「どういうことだよ？」

マーモン「つまり、彼は消えて、僕達の記憶から消える…」

一同・マーモン「！！？」

マーモン「…多分彼は誰かに見られる事無く消えるつもりで隠れたんだね…」

ザンザス「…探せ…カスが」

一同・ザンザス「s i b o s s（了解、ボス）！！」

フランside

はあ……とうとう消えるんですねー…

骸「本当にいいんですか？」

フラン「何がですかー？」

骸「ヴァリアーにさよならを言わなくて」

フラン「…いいんですよ…みんなの顔を見るとせつかくの覚悟が揺らぎますからー」

骸「…そうですか…!？」

フラン「…そろそろ時間のようですねー…」

ミーの体が透けてきましたー

フラン「…師匠、ミーは先に黒曜に逝ってますー」

骸「…おチビ、それはどういう意味ですか？」

フラン「…冗談ですよー」

????「見つけた!！」

フラン「…!？」

????「一人で勝手にさよならしちゃうなんてあんまりじゃない」

フラン「ルツス先輩…」

???「フラン…！何故このことを言わなかった…！」

フラン「レヴィさん…」

???「ししっ、王子に黙って逝くなんてぜってー許さねえ」

フラン「ベル先輩…」

???「ヴオオオオオイ！！俺達に黙って逝くなんていい度胸じゃねえか…！！」

フラン「スクアアロ隊長…」

???「カスが…」

フラン「ボス…どうして？」

マーモン「ふう…間に合ったようだね」

フラン「…前任…いや、マーモン先輩？」

ヴェルデ「どうやら間に合ったようだな」

マーモン「…？どうしてヴェルデが」

フラン「ヴェルデ…どうしたんですかー？」

マーモン「どうして君がヴェルデを知ってるんだい？」

フラン「いろいろと…」

ヴェルデ「フラン、後で渡すものがある」(ボソッ)

フラン「…!？」

その瞬間、ますます透けてきましたー

フラン「…そろそろ時間のようですねー…」

ベル「っ!？カエル、記念にやるよ」

フラン「…オリジナル…ナイフ？」

ベル「しっしっ 王子やつさしい」

うわぁ…最後までナルシですねー

…でも、なんででしょー…胸が温かいですー

フラン「ありがとーですー…」(ボソッ)

スうー

ますます透けてきましたー

フラン「Arriverci addio Grazie fi

nora(さようなら、また会う日まで…今までありがとう)(  
間違ってたらごめんなさいby作者

その瞬間ミーは消えましたー…



プロローグですー（後書き）

フラン「うわぁ、随分長いプロローグですねー」

みづ「私も自分で書いてて思った」

フラン「…ところで最後、イタリア語ですかー？」

みづ「うん、フランはこの小説ではフランス人っていう設定だけど、生憎フランス語は分からないから」

フラン「そうですかー…」

みづ「次回はあれから一年後」

フラン「ふーん（°。°。°）」

みづ「なにその顔」

フラン「次回もお楽しみにー」

みづ「無視すんなー!!」

一話 あれから一年後…（前書き）

はあ…神様なんて嫌いですよ…いつも)……（ミーから幸せを取っていく…

ミーにだって幸せになる権利くらいはあるのに…

どうして幸せをくれないんですかー？

…確かにミーはいつぱい罪を犯しましたー…

でも、罪を犯して直、幸せな人はいつぱいいますよー…

どうしてミーは幸せになれないんですかー？

誰か…教えてくださいー

一話 あれから一年後…

フランク side

ピュピュピュ

フランク「ん？もう朝ですかー」

どうもー、ミーはフランクですー

ミーはヴァリアーを離れ、ジャッポネでフリーの殺し屋をやっているんですがー今は休業中ですよー

何故かって？

なんかこの一年で随分ミーも有名になったみたいでヴァリアーにスカウトという名の人攫いから逃げてるんですよー

こういう時の為に幻術をパワーアップさせましたよー…

辛かったですー

…それに記憶を忘れてるのはマーモン先輩を除くヴァリアーメンバーだけなんですよねー…

多分かなり強力な幻術師に記憶を操作されてるんですねー…

だから情報を集めてるんですよー

デーチモ達にも調べてもらってるんですがどうやら情報まで操作されてるらしくなかなか難しいですよ…

今日はボンゴレアジトに行きましょーかねー

…匿ってもらう権情報を集める為にー

…さて、幻術で変装しますかー

ドカーン

ちっ

感づかれましたー

でも、ボスカマーモン先輩が来ない限りは限られないはずですよー

一般人のかつこうで外に出ても感づかれますから師匠の格好をしますー

骸<sup>フラン</sup>「おや？誰かと思えばベルフェゴールじゃないですか」

ベル「ししっ、お前、なんでここにいんの？」

骸<sup>フラン</sup>「クフフ…僕はおチビの師匠ですからね…修行を見に来るのは当然ですよ」

ベル「あっそ、狂気の幻術師知らね？」

骸<sup>フラン</sup>「クフフ…おチビなら一足先に逃げましたよ？」

ベル「チツ、感ずかれたか…」

骸<sup>フラン</sup>「クフフフ…まあ、頑張つて下さい」

ベル「チツ」

ベル先輩はどっかいきましたねー

ふう…師匠の真似は疲れますー

????「ムムツ…大分上手くなつたね…」

骸<sup>フラン</sup>「おや？霧のアルコバレーノじゃないですか…」

マーモン「ムムツ…フラン、僕の前では骸の真似はしなくていいよ？僕は別にスカウト目的じゃなくて様子を見に来ただけだよ」

骸<sup>フラン</sup>「あ、そうですかー」

マーモン「骸の姿でその口調は違和感があるね…」

骸<sup>フラン</sup>「ミーは別に好き好んでこの姿をしてるんじゃないありませんー」

マーモン「あ、そう…所で僕のおしゃぶりがひかってるんだけど…」

骸<sup>フラン</sup>「多分…それ…ヴェルデですよー」

ヴェルデ「ふん…フラン、行くんじゃないのか？」

骸<sup>フラン</sup>「あ…忘れてましたー」

マーモン「ムムツ…何処に行くんだい？」

骸<sup>フラン</sup>「ちょっとボンゴレアジトに…」

マーモン「…だから今日の幻術は念入りなのか」

骸<sup>フラン</sup>「はいー」

マーモン「じゃあ僕も行くよ、リボーンに呼ばれてるしね」

骸<sup>フラン</sup>「じゃあヴェルデもいきますよー」

ヴェルデ「チッ」

舌打ち！？

ヴェルデ、軽くキャラ崩壊してますよー

そういえば、あの時ヴェルデに貰った物の説明忘れてましたー

八つのボックスを貰いましたー

ただのボックスじゃなくて獄寺隼人のスイステーマ シー・エー・アイと同じタイプでー、ボンゴレボックスと同じ形態変化の出来る代物なんですよー

大空は天空ライオンのライ、形態変化は銃ですー  
嵐は嵐スカンクのゴール、形態変化はナイフですー

雨は雨シャチのアクア、形態変化は剣ですー

雷は雷カスザメのサンダー、形態変化はブーメランですー

晴は晴キジのメロン、形態変化は弓矢

雲は雲タヌキのラウ、形態変化は手裏剣ですー

霧は霧ウサギのユキ、形態変化は槍ですー

最後に虹は虹フェニックスのレイン、形態変化は本ですー

マーモン「どうしたの？早く行くよ？」

骸<sup>フラン</sup>「今行きます」

並盛商店街

骸<sup>フラン</sup>「ん？」

「???」「ったく…狂気の幻術師はどこいったんだ？王子に手間をかけさせやがって…」

げっ…墮王子…

ベル「ん？六道骸じゃん」

見つけられましたー

骸<sup>フラン</sup>「クフフ…また会いましたね…ベルフェゴール」

ベル「なんか顔が引きつってるんだけど…」

骸<sup>フラン</sup>「クフフ…気のせいですよ…では、僕は急いでいるので失礼します」

ベル「…？待てよ」

骸<sup>フラン</sup>「…？」

ベル「お前、六道輪廻はどうした？」

げっ…細かいところ忘れてました…

骸<sup>フラン</sup>「クフフ…幻術で隠してるんですよ…」

ベル「お前普段隠して無いじゃん」

骸<sup>フラン</sup>「クフフ…僕も変な目で見られるのはさすがに嫌なので…」

ベル「……………じゃあさ、ヘルリング見せろ」

骸<sup>フラン</sup>「嫌です」

ベル「なんで？」

骸<sup>フラン</sup>「ヘルリングはただでさえ危険なんですから早々見せれる物ではありません」

ベル「ふーん…」

マーモン「あれ？ベル？」

ベル「マーモンじゃん」



マーモン「なに探してるんだい？」

ベル「フラン」

マーモン「それならあっちに行つたよ？」

ベル「…じゃあ捕まえるよ！！」

マーモン「僕は金を貰わないと仕事しないよ…それに今日僕、アルコバレーノの会議に行かなきゃ無いしね」

ベル「あっそ」

サッ

ベル先輩行きましたねー

骸<sup>フラン</sup>「…はあ…六道輪廻の存在すっかり忘れてましたー」

マーモン「…僕の幻術でフランを作り出したからしばらく時間稼ぎになるはずだよ」

骸<sup>フラン</sup>「ありがとうございますー…で？いくらなんですかー？」

マーモン「今回は特別にSランクの賞金と同じにしてあげるよ」

骸<sup>フラン</sup>「ありがとうございますー」

ボンゴレアジト

ツナ「あ、あれ？骸が二人！？」

骸「…おチビですね？」

骸<sup>フラン</sup>「当たり前です」

スウー

フラン「師匠の真似は疲れますー」

骸「クフフ…どうせベルフェゴールにでも見つかりそうになったんでしょ？」

フラン「…師匠、見てましたー？」

なんで師匠はベル先輩が来たことを知ってるんですかー（、・、）ノ

フラン「…所で情報は集まりましたー？」

ツナ「全然…」

リポーン「全く情報がねえんだ…フランに恨みを持っていたり、ライバル視している奴で記憶を操作出来る幻術師はいねえんだ…マーマンがフランのことを忘れなかったのは、そこまでフランとの思い出がねえからだな…」

フラン「そうですかー…」

まあ…心当たりはありますけど…言わない方がいいですねー…

「コロネロ」ところでリボン！！俺達を呼んだ訳はなんだ！！コラッ」

リボン「ん？ああ、これから本格的に虹のアルコバレーノを探そうと思ってな」

ピクッ

フラン「……………」

ツナ「フラン？」

フラン「ハッ）なんですかー？」

ツナ「…顔色悪いけど大丈夫？」

フラン「大丈夫ですー」

ウィーン

ジャンニーニ「十代目、ボヴィーノファミリーからバズーカが届いてます」

スタスタドテ

ジャンニーニ「さんが転んでバズーカがこっちに…飛んで…来る？」

ミー「が避けようとしたら

フラン「なっ…うごけ…ない?!」

アルコバレーノ「……!?」

ミーが…いや…多分アルコバレーノ達も動けないと思います…少量ですがノントウリニセツテが流れてます…

ボワン

そして…ミーはバズーカに入ってしまった…

リボーン「…どうやらすぐ近くにいたらしいな…虹のアルコバレーノは…」

どこかの空中 何故!?

ぼわん

フラン「へっ!?!」

ここは…空中ですねー＼(^ ^)／

くっ…ちゅっ…

フラン「 ○ ? 」

えっと落ち着いてください…

えっとえっと空を飛べるボックスは…レインだけですけどー…無闇にフェニックスを使う訳にはいきませんー

フラン「ミー…終わりましたねー」

諦めモードですー

意識を保つので精一杯ですー

????「十代目、あれはなんでしょう？」

????「空から人がおちてるううう!？」

ああ…未練ありまくりですねー…

????「あいつ…未来で骸といた奴じゃないか？」

????「とにかく助けなきや」

ゴクン

????「……………」

ん?あれは…十年前のデーチモ?

あ…意識が…

次回へ続く

一話 あれから一年後…（後書き）

終わった…

次回は十年前！？

お楽しみに

二話 十年前ですかー！？（前書き）

第二話だよ

二話 十年前ですかー!?

フラン side

ん?ここは...?

確か...バズーカが飛んできて...それから...空中から落ちて...

ガバツ

フラン「ここは・・・」

ガチャ

???「気が付いた?」

フラン「十年前のデータモですかー?」

ツナ「うん、君から見れば十年前...だね」

フラン「...所でここは何処ですかー?」

ツナ「ここは君から見れば十年前の俺の家だよ」

フラン「そうですかー...自己紹介でも、しますかー...ミーはフランですー」

ツナ「俺は(フラン)知ってるからいいですー」そう?..」



リボーン「チャオツス」

フラン「リボーン……」

リボーン「お前……確か……十年後ヴァリアーだろ？今日はオフか？」

フラン「……違いますよー？九年後ヴァリアーだったんですよー？」

ツナ「九年後ヴァリアー……だった？」

フラン「はいー……ミーは一年前にヴァリアーを抜けましたー」

ツナ「なんで？」

フラン「それは……」

ミーは今までの事を話しましたー

リボーン「成る程な……皆にとってはハッピーエンドでもフランにとってはバッドエンドだったのか……」

フラン「いえ……ミーにとってもハッピーエンドですよー……日常茶飯事だったナイフも飛んでこないですしー」

ツナ「……嘘は付かないでいいよ……だって辛そうだよ？」

フラン「っ！？大丈夫ですよー……正直辛いですけど……ミーは大丈夫……」

ミーは自分に言い聞かせるように言葉をリピートしていますー

ツナ「フラン…」

リボーン「でも、どうするんだ？」

フラン、ツナ「??」

リボーン「住むところ…」

ツナ「そういえばそうだ」

リボーン「この家はもう居候者でいっぱいだぞ？」

ツナ（居候のお前が言うか！？）

ランボ「ツナ！！ランボさんと遊べ！！」

ツナ「こんな時に！！」

フラン「ウザ……」

イーピン「ランボ！！邪魔ダメ！！」

ランボ「ヤダ！！ランボさんツナと遊びたいんだもんね！！」

フラン「……………（…）」

リボーン「おいアホ牛、今取り込み中だ」

ランボ「嫌い！！リボーン！！ちねー」

リボーン「よつと」

リボーンは手榴弾を投げようとしたアホ牛を返り討ちにしましたー

ツルツ

げっ…ピンが取れて手榴弾がこっちに来ましたー

フラン「……………はあ、開匣」

カチッ

霧ウサギ（コニツリヨ・デイ・ネツビア）

フラン「ユキ、カンピオ・フォルマダルド・ネツビア形態変化、霧槍」

フラン「はっ」

カキーン

ミーは槍をバットのように持ち、窓の外へホームランですー

フラン「やりましたー」

ランボ「ひっぐ…えっぐ…が・ま・ん…出来ないんだもんね」

そしてアホ牛は十年バズーカを取り出しましたー

ホント、あのアフロは四次元 ケット並ですな

ボワン

モクモク

大人ランボ「ん？」

フラン「アホ牛さっきぶりですー」

大人ランボ「フラン氏！！心配してましたよ」

フラン「どうもですー…時空携帯持ってますかー？」

大人ランボ「はい、獄寺氏がどうせ十年前の俺がすぐに十年バスーカを使うから時空携帯を持ってけとのことですよ」

フラン「…予想大当たりですねー」

ツナ「時空携帯？」

フラン「はいー…アホ牛がドジ踏んでよく誰かに十年バスーカが当たるんですけどー、よく故障して戻ってこない事があるんですよー…その時用に造られましたー…連絡が取れるように…勿論普通の携帯としても使えますよー」

ツナ「へえー」

フラン「実は暫く休みだったのはミーの携帯を改造してもらったからなんですー…携帯が無ければ依頼を受けられませんからー」

ツナ「へえー」

大人ランボ「すみません…」

リポーン「成る程な」

ボワン

あ、五分経ちましたー

ランボ「あれ？あれれれ？」

フラン「とりあえず電話してみま（携帯「深紅の森は」あ・・・」

携帯「ミーのワンダーランド（ピッ」

フラン「はい、もしもしー？」

リポーン「着メロが自分のキャラソンとか…なかなか乙だな」

十ツナ『あ、もしもしフラン？』

フラン「はいー…ミーですデーチモ」

十ツナ『あの…今何処？』

フラン「十年前のデーチモの家ですー」

十ツナ『そう…あ、暫くフラン、帰れそうにないよ？』

フラン「どうしてですかー？」

十ツナ「うん…それが…フランの入ったのは十年前バズーカで、十年バズーカと一緒に五分経ったら戻るんだけど…」

フラン「へっ!?!もうとっくに五分過ぎてますよー」

十ツナ『うん…ジャンニーニやヴェルデ達に調べてもらったところ、何処も故障してないらしくて…』

フラン「じゃあなんで!?!」

十ツナ「多分…誰かに仕組まれたと思うよ…」

フラン「そんなー」

十ツナ『とりあえず暫く帰れないから…』

フラン「…分かりましたー」

十ツナ「うん…じゃあね』

ピッ

フラン「…暫く帰れそうにないですー」

リポーン「そっらしいな」

フラン「…とりあえず家でも探しますかー…」



「二話 十年前ですかー！？（後書き）」

フラン「終わらせ方無理やりですー」

みづ「しょうがないじゃん…オチが行方不明なんだもん」

フラン「そうですかー」

みづ「次回は並中学生スタート」

フラン「お楽しみにー」



### 三話 リボーンの頼み

フランク side

…なんですかー？これー

リボーンの事だからやりかねないと思ってましたがー…

なんでミーが女子の制服着なきゃいけないんですかー！！（泣）

しかもご丁寧にヘアピンやヘアゴムまであるじゃありませんかー

女装なんて持ってたのほかですよー

ルツ先輩にもよく女装されそうになりましたー…

しかもヴァリアーには女がいないから女が必要な任務にはミーが必ず逝ってましたー…（思い出し泣き）

…まあ、ルツ先輩が行くよりマシでしたけどー…

…兎に角、女装はヴァリアーだけで十分ですー

…幻術で誤魔化そうかな？

リボーン「幻術で誤魔化そうなんてこと、しないよな？」

フラン「はあ…不法侵入の上に読心術ですかー？警察に逝って下さいー」

リポーン「…お前の職業を考えた上で発言してるのか？」

フラン「ジョーダンですよー」

リポーン「とりあえず着ろ」

フラン「やっぱり着なきゃいけませんかー？」

リポーン「ああ、それにもう女としての転入届けを出したからな」

フラン「ボソツ」ちっ…このリポーン（馬鹿）に任せたミーが間違  
いでしたー」

リポーン「聞こえてるぞ」

バキューン

フラン「ちよっ…危ないですよー…あーあ…家に穴が開いちゃった  
じゃないですかー…弁償してくださいーい」

リポーン「ちっ赤ん坊から金を取るのか…」

フラン「…こついう時だけ赤ん坊の肩書きを悪用しないでくださいー  
い」

リポーン「…そんなことより早く着ろ」

フラン「……………分かりましたよー」

リポーン「俺はリビングにいるからな…さつさと着替えて飯を作れ」

フラン「ちゃっかり食べていく気ですか」

リポーン「そつだ、悪いか」

フラン「開き直らないでください」

なんだかんだで着替え完了ですー

…つう…恥ずかしいですー／／

リポーン「来たか…お前の偽名を考えてやったぞ」

フラン「どんなんですかー？」

リポーン「ラン・アルコバレーノだ」

フラン「…ランってミーの名前からフを取っただけじゃないですかー?!それになんでアルコバレーノが苗字なんですかー？」

リポーン「フランって意外と突っ込みスキルがあつたんだな…」

ラン「はい…っっていうかポケと突っ込みの両方ですかねー?っっていうかもう表示がランに変わってますー…で?喋り方は同じでいいですよー?」

リポーン「ああ、任務とかじゃねえからな」

ラン「…所でなんで並中に通わなきゃいけないんですかー?ちゃん

とした理由があるはずですよー」

リボーン「以外に鋭いな…実はな、笹川京子という晴の守護者の妹がある女に嵌められて虐められてるんだ…」

ラン「虐めてる奴等の中にボンゴレは？」

リボーン「いねえぞ」

ラン「そうですかー」

リボーン「そいつは中流ファミリーの娘なんだ…恐らく狙いはボンゴレだ…あいつ、虹の波動を持つてるとか言つて無理やり入つてきたんだ…同盟ファミリーだし、下手に断れねえしな…一応戦力になるからしな…そんな時にお前が降つて来たんだ」

ラン「そうなんですかー…ボンゴレじゃ動きにくいから、今ボンゴレを抜けているミーに頼んだと…」

リボーン「そういうことだ、頼んだぞ」

ラン「分かりましたー…って、まだいじめっ子権ファミリーの名前聞いてないですよー」

リボーン「いじめっ子の名は赤野絵里、ブリガレファミリーだ」

ラン「ブリガレ…影で糸を引く、策動する、裏から手を回す、黒幕になる…という意味ですねー」

リボーン「あぁ…」

ラン「あれ？確かブリガーレって十年前に復讐者に捕まった筈です  
ー」

リポーン「それは未来だろうが、ここはそこが問題の十年前だ」

ラン「そうでしたー」

ピンポーン

ラン「？はいー」

ガチャ

ラン「デーチモ！？」

ツナ「フラン？！どうしたの？その格好」

ラン「うう…リポーンに無理やり着せられましたー／／／」

ツナ「災難だったね／／／」

ツナ（可愛いな…フランって本当に男？）

ラン「この姿の時はランって呼んでくださいー」

ツナ「うん、分かった、所でさあ、リポーンから聞いた？」

ラン「はいー…聞きましたー…ミーに任せてくださいー」

ツナ「ありがとう、ランちゃん…後、俺の事はツナって呼んで？デ  
ーチモじゃ堅苦しいからさ」

ラン「あ、未来のデーチモもそう言ってましたー…まあ、さすがに  
ボスだからデーチモって呼んでましたけどー…まあ、こっちのデー  
チモはツナと呼ばしてもらいますー」

ツナ「うん」

次回へ続く

三話 リボーンの頼み（後書き）

次回は当等並中生活スタート

#### 四話 並中生活スタート、転校生はヴァリアー？

フランク side

ツナ「ランちゃん、これから京子ちゃんを迎えに行くけどいい？」

ラン「はいー、ミーも十年前の京子姉さんに会いたいですしー」

ツナ「京子姉さん？」

ラン「はいー、ミーに優しくしてくれる年上の人は大抵姉さん、兄さんって呼んでるんですー」

ツナ「へえー」

ラン「まあ、安心してくださいー、この世界の京子姉さんは京子ちゃんと呼ぶのでー」

ツナ「うん」

獄寺「十代目！…お早うございます！…！…そいつは？」

ラン「ほら、ミーですよー」

獄寺「あ！…昨日落ちてきた野郎ですね！…」

ラン「はいー…リボンに無理やり着せられましたー…フランクですー…」この姿ではランって呼んでくださいー」



獄寺「お、おう…十代目に無礼な事をしたら果たすからな!」

ラン「隼人兄さん…やっぱり十年前は聞いてた通り忠犬ですね」

獄寺「兄さん？」

ラン「こつちの話ですー」

山本「よ、ツナ…そいつは？」

ツナ「ほら、昨日落ちてきた…」

山本「ははっ…あいつか、おんん（フラン）リポーンに無理やり着せられましたー」そうなのな」

ラン「武兄さんは何年経っても天然ですねー」

山本「兄さん？」

ラン「こつちの話ですー、ミーの名前はフラン、この姿の時はランって呼んでくださいー」

山本「ふーん…分かったのな」

獄寺「あ、笹川の家に着きましたよ、十代目」

ツナ「うん」

ピンポーン

京子「はい」

ガチャ

京子「お待たせ、ツナ君、獄寺君、山本君…えつと？」

ラン「はじめましてー、ミーはラン・アルコバレーノ、京子ちゃんだよな？」

京子「う、うん」

ラン「そんなに怯えないでくださいー、リボンから事情は聞きましたー…大変でしたよねー？ミーは京子ちゃんの味方ですから安心してくださいー」

京子「えつと…でも…」

ラン「…無理もありませんよねー…今まで信じてきたクラスメイトに裏切られて…何処の馬の骨とも分からないミーを信じるって言われても無理がありますよねー…無理にとは言いませんー…少しずつ信じてくれればいいんですからー…」（にこっ）

正直作り笑いですー…当の昔に笑い方なんて忘れてしまいましたからー

京子「うん…」

了平「京子！！待たせたな！！」

京子「お兄ちゃん！！」

う、煩いですー…スクアール隊長並ですー

了平「ぬ？極限にお前は誰だ！！」

ラン「はじめましてー…リボーンに頼まれて虐めを無くす為に来た、ラン・アルコバレーノですー」

了平「そうか！！極限によろしく頼むぞ！！」

ツナ「ごめんね？ランちゃん…俺達ボンゴレだから赤野に手を出す訳にはいかないんだ」

ラン「任せてくださいー、かならず復讐者の牢獄にぶち込んでみせますよー」

京子「……………」

京子姉さん…瞳に少ししか光を宿してないですねー…多分、親友的な人にも裏切られたんでしょー…多分、花さんにも信じて貰えなかつたんでしょー…

花さんをこっちに引き込めばもうちょっと光が戻るんでしょーが…

ラン「……………」

ツナ「ランちゃん？」

ラン「はっ！すみませんー…考え事してましたー」

ツナ「京子ちゃんのこと?」

ラン「はいー」

ツナ「京子ちゃん…黒川に裏切られた事…凄く堪えてるからな…」

ラン「ミーも今それについて考えてたんですー…花さん…どうにかしてこつち側に付けたいですねー」

ツナ「うん…」

校門

???「君、その髪の色とカラコンは校則違反だよ」

ツナ「ひ、雲雀さん!」

ラン「この髪の色は地毛ですしー目の色はカラコンじゃないですー」

雲雀「…所で君、見ない顔だけど?」

ラン「ミーは転校生のラン・アルコバレーノですー」

雲雀「ふーん…君が三人目の転校生…」

一同・雲雀「三人!」

雲雀「うん、片方はヴァリアーの天才君だったよ」

ツナ「それって!」

ラン「ぼそ）ベル先輩…」

ツナ「…大丈夫？」

ラン「はいー…なんとかー」

ツナ「獄寺君、ランちゃんを職員室へ連れてってあげて？」

獄寺「はい！！分かりました」

職員室

ガラガラ

獄寺「センコー、転入生連れて来たぞ」

先生「ご苦労だったな、もう戻って（?????1「ししっ…王子待たせるなんて生意気」…」

げっ…ベル先輩…と姿は幻覚で違うけどマーモン先輩もいますー

獄寺「お前はナイフ野郎と針山紋太！！」

紋太「久しぶりだね…獄寺隼人…」

一応関係は知ってるけど、一応聞いておきましょうー

ラン「三人ともお知り合いですかー？」

獄寺「ああ、色々とな」

ラン「そうですかー」

先生「獄寺、もうすぐチャイムが鳴るぞ」

獄寺「ああ？」（ギロツ）

ラン「早く行かないとツナが危ないかもしれませんよー？」

獄寺「はっ）十代目！！」

隼人兄さんは疾風の如く去っていきましたー

ラン「廊下は走っちゃだめだと思っんですがー…雲雀さんに咬み殺されちゃいますよー…？」

ベル「ししっ…今言ってもしょうがなくね？カエル」

ラン「ミーの何処にカエルがあるんですかー？」

紋太「カエルの髪飾り、カエルのヘアピン、カエルの腕時計、カエルのキーホルダー…君、そんなにカエルが好きかい？」

ベル「素が出てる…紋太」

っていうかカエルを相棒としてるあんに言われたくないですー

なんだかんだで3 - A

先生「今日は転入生を紹介する、入って来い」

ベル「ししっ、王子に命令すんな」

紋太「それより自己紹介…」

ベル「王子、ベルフェゴール、王子だから」

紋太「針山紋太…」

ラン「ミーはラン・アルコバレーノですー、虐めとか大嫌いですがらー、虐めをする人はよろしくしないですー」

紋太（アルコバレーノ！？彼女は一体何者？）

質問タイムも終わり…

先生「じゃあベル君は獄寺、針山は山本、ランは京子の隣だ」

獄寺「けっ」

ベル「ししっ」

山本「ははっ、久しぶりなのな、紋太」

紋太「うん…ここにいる間は君の店に寄ると思うから…」

山本「おう」

ヒソヒソ

男1「笹川の隣？」

女1「可哀想……」

京子「……………」

ラン「京子ちゃん、大丈夫ですよー？ミーはちゃんといますからー」

京子「うん……有難う……ランちゃん……」

ベル「…？」

紋太「……………」

なんだかんだで昼休みですー

ラン「京子ちゃん、ツナ、隼人、武、屋上でご飯食べましょー？」

京子「う…うん」

女「ねえ、その子に話しかけない方がいいよ？」

男「そうそう、こいつ、絵里さんを虐めてるんだぜ？」

ラン「じゃあ聞きますけどー、赤野さんを虐めたという証拠はあるんですかー？」

赤野「うん……この傷…京子ちゃんにやられたの……」



そういつて赤野は傷を見せてきましたー…

でもこれは…

ラン「あー…傷が浅すぎますねー…こんなの、数日で治りますよー？それにさつき見てましたがー、京子ちゃんは右利きですよー？なのになんでこの傷は左ではなくてー右にあるんですかー？それにアಂತ達も本人の証言や傷だけじゃ証拠になりませんよー？なんの為に嘘、嘘泣き、自傷行為、自作自演の言葉があると思っってますかー？じゃあ、ミー達は行きますー」

ベル「俺達も面白そうだから着いてこっぜ」

紋太「うん…あいつの正体も気になるしね」

ベル「しっしっ決つまり」

屋上

ラン「わー、ツナのお弁当美味しそうですー」

ツナ「はは…有難う、そういうランちゃんのお弁当だって美味しそうだよ」

ラン「あ、京子ちゃん、お弁当は？」

京子「えっと…」

ラン「あ…ぐちゃぐちゃ…ミーのお弁当分けてあげますー」

京子「え…そんな!!悪いよ…」

ラン「ミーは小食なんです…だから、こういう事になるのは予測済みですからー、遠慮しなくていいですよ…其処に隠れているあんた等もどうですかー？」

スウー

ベル「しっつ…完全に気配を消した筈なんだけどな…」

紋太「俺も……」

リポーン「っち…」

ラン「やっぱしあんた等でしたかー…墮王子、強欲幻術師、自称最強のヒットマン」

ベル「誰が墮王子だ!!」

紋太「……何故僕の正体を？」

リポーン「誰が自称だ!!」

ラン「で？リポーンは兎も角あんた等はなんの用で？」

獄寺「そうだ!!」

山本「笹川を虐めに来たのなら容赦しないのな」

ツナ「……………」(睨)

京子「……………」(怯)

ベル「あん？」

不味いですねー…京子姉さんだけでなくツナ達まで人間不信に成りかけてますー…

…よほど酷い仕打ちを受けたんですねー…人を疑う事を知らないツナまで…

紋太「別に…僕達はただ其処のランって言ったっけ？その子に用があるだけだから」

ラン「此処では話せない事なんですかー？」

ベル「馬鹿か？此処には一般人がいんだろっが」

ラン「ねえ、京子ちゃんってツナがマフィアだって事知ってましたっけー？」

京子「うん、知ってるよ？」

ラン「じゃあ此処で話してもいいじゃないですかー、ベルさん？紋太さん？」

紋太「……………しょうがないね…じゃあ単刀直入でいうけど君、何者だい？」

ラン「……………リボンに無理やり女子の制服を着せられた未来人で

フリーの殺し屋…という所ですかねー？」

リボン「そうだな」

ベル・紋太「…？」

ラン「手短に言つと赫々云々（かくかくしかじか）ですー」

ツナ「手短過ぎー！！」

ベル「マジでか」

紋太「まさか…本当に？」

ツナ「伝わったー！？」

京子（クスッ

ラン「あ、笑いましたー」

ツナ「ホントだ^^」

京子「え？」

獄寺「いや、虐められる様になってからあんま笑うこと無かったから」

山本「そうなのな」

ラン「京子ちゃんは笑った方が可愛いですよー」

リボン「お前も笑えば可愛いと思うがな…」（ボソツ）

ラン「で？あなた等ヴァリアーの目的はなんですかー？紋太さん、ミーもちやんと話しましたからー、お金は取らないでくださいー」

紋太「っち」

続く

四話 並中生活スタート、転校生はヴァリアー？（後書き）

中途半端に終わってしまってますいません…

次回…ヴァリアーの目的

フランの過去

フランの正体

の三本です

じゃんけんポン（チヨキ）

ツナ「何故さ えさん風!？」

次回もお楽しみに

（次回予告は嘘です、本当かもしれないが…）

## 五話 ヴァリアーの目的 怪我したフラン

フランside

ラン「…で？ヴァリアーがなんの用ですかー？」

ベル「ししっ、沢田綱吉をボスらしくする為に来た」

紋太「僕等はその守護者を守護者らしくしにきたんだよ…」

ラン「紋太？マーモンさん？がお金を要求しないなんて珍しいですねー」

紋太「別に…前払いで貰ってるからね」

ラン「あ・・・そうですかー」

京子「……………」

ラン「京子ちゃん？」

あの目…！？マインドコントロール！？

ラン「まさか…！」

フェンスを飛び越えましたー

ツナ「京子ちゃん！？」

ラン「っ！！ボックス開匣！！」

雨シャチ（オルカ・ディ・ピオツジャ）

一同「…！？」

ラン「アクア！！京子ちゃんを！！」

アクア「ピー！！」

アクアは京子ちゃんを助けた

京子「……………」

ラン「京子ちゃん！！生きるんです！！生きなきゃダメなんです！！……京子ちゃんが死んだら……悲しみますよー？皆京子ちゃんが大好きなんですー……早く誤解を解いて皆で笑いあいましょー？」

京子「ハッ）ラン…ちゃん」（ガクッ）

京子ちゃんは今、マインドコントロールが解けた様で気絶しましたー

ラン「よかったですー……」

アクア「ピュー」

ラン「後は……一番面倒なのが残ってますねー……」

アクア「ピュ……」



リボーン「お前のこと…包み隠さず話してもらおうぞ」

ラン「取りあえず帰ってからでいいですかー？」こじゃ、敵さんもわんさかいる様ですしー」

リボーン「分かったぞ」

ベル「しし…王子達も行っている？」

ラン「なんで墮王子まで？」

紋太「僕達も気になるしね…」

ラン「いいですけどー、秘密を知ってもスカウトとか考えないでくださいねー？ミィは悪魔でも未来から来たんですからー」

紋太「分かった」

ラン「リボーンも分かりましたかー？」

リボーン「っち」

ラン「あんたはスカウトする気満々でしたかー…」

放課後

ラン「なんか色々と疲れましたー」

ツナ「はは…」

ラン「さっさと行きましょー」

因みに京子ちゃんは保健室ですよー

保健室

ラン「変態保険医ー、京子ちゃんに変なことしてませんかー？」

シャマル「おいおい、預かってもらってそりゃあねえだろうよ」

ラン「それは日頃の行いが悪いからですよー」

シャマル「毒舌だなあ・・・」

ラン「京子ちゃんは？」

シャマル「あ？精神的疲れが出たのか…眠ってるよ」

ラン「そうですかー…貸してくださいー…オブって行きますからー」

シャマル「あ？隼人達はどうした？」

ラン「先にミーの家に向かって貰ってますよー」

シャマル「そうか」

ラン「よいしょーっと…じゃあミーは帰りますよー」

シャマル「おっよ」

帰り道

携帯「深紅の森はミーのワンダーランド」

ラン「ん？」

携帯「ねえあつちにもこっちにもいるよ（ピッ）」

ラン「もしもしー？」

ヴェルデ「もしもし？」

ラン「ヴェルデ、何の用ですかー？」

ヴェルデ「お前の生活用品を送つといた…いまいるその場に届く筈だ…用件はそれだけだ」

ブチ

ラン「切れた…今いるその場？…嫌な予感が…」

ヒュー

ラン「ヤバッ」

上からミーの荷物が落ちて来ましたー

ヒョイ グキ

ミーは間一髪避けましたがバランスを崩して足を挫いてしまいました

たー

…ダサいですー…これじゃあ殺し屋失格ですー

ラン「…取りあえず痛いのを我慢して帰りましょー…隠れられる場所を探しながら…」

???「ししっ…なにやってんの?」

ラン「なんで此処にいるんですかー、ベルさん、マーモンさん、スクアーロさん、ルツスーリアさん、レヴィさん、ザンザスさんまで…」

ベル「だってこれからお前んちに行くし」

ラン「…何もヴァリアー全員で行くことないでしょー?」

マーモン「なんか成り行きで?」

ラン「なんで疑問系なんですかー?はあ…近所迷惑になりそうですねー…」

スクアーロ「ヴオオオオ(ラン「近所迷惑ですよー」…」

ラン「…たく…さっさと行きますよー…」

ミーが歩き出そうとしたら

ラン「っ…」

足の痛みが襲いましたー

…これは捻挫しましたかねー？

ラン「あー…これからミーは京子ちゃんを送り届けなきゃいけないんで…」

ザンザス「……………」

めっちゃボス睨んでますー…

怖いですー

ラン「じ、じゃあミーは行きますー」

ザンザス「待て…」

ラン「は、はいー？な、なんでしょー？」

ベル（怯えてるな…完全に）

マーモン（あれじゃあ肉食動物に狙われたウサギだね…）

ベル（ししっ…蛇に睨まれた毒舌蛙だろ？）

まさか…ボスの超直感で見抜かれましたかねー？

ザンザス「お前…怪我…してるだろ？」

ラン「な、なんの事でしょー？」

ザンザス「惚けるな…」

ラン「はいー…怪我してますー…」

ザンザス「カス…手当てしてやれ」

ルツス「残念ながらボス…ここに手当てする道具が無いのよ」

ザンザス「ツチ…ならカス共をオブってやれ…」

ラン「べ、別にいいですよー…自分で歩けますー」

っていうかボスが優しくなってますー（汗）

無口キャラ難しい…by作者

ベル「どれどれ？」

ゲシッ

ラン「…っ」

ベル「ししっ…無理そうだぜ？」

ラン「蹴ることないじゃないですかー…京子ちゃんを落としそうでしたよー」

ベル「しし」

スクアール「ヴオオオイ！！晴の守護者の妹は俺がおぶるぜ！！」

ラン「ソフトにお願いしますよー？笹川了平の妹と言っても一般人なんですからー」

スクアール「わかったぞお！！」

ザンザス「…るせえ」

ベル「しし…じゃあこのバカエルは俺？」

ザンザス「…ああ」

珍しい…あの墮王子が…自分から進んで…

ベル「じゃあ、行くか」

ラン「……………」

ベル（軽ッ…こいつマジ軽い…）

家

ラン「…そろそろ下ろしてもいいですよー？」

ベル「あ、ああ」

ラン「有難うございますー…」

ツナ「あ、お帰り…ヴァリアー！？」

ラン「はいー…帰る途中に会ったのでー」

獄寺（警戒）

ラン「…何故守護者が集まってるのは聞きませんー…その代わり暴れないでくださいー」

ツナ「はは…」

ラン「ボックス開匣」

晴キジ（ファジャーノ・デル・セレーノ）

ラン「メロン、お願いしますー」

メロン「ピィ！！」

ラン「この体制で話しますー…すみませんー」

ツナ「う、うん」

ラン「じゃあ話しますー」

続く



五話 ヴァリアーの目的 怪我したフラン（後書き）

無口キャラは難しい・・・

次回はフランの秘密と過去

お楽しみに

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9335y/>

---

リボーン 10年前に行っちゃいましたー

2011年12月8日23時47分発行